

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県備前市 吉永病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	-	ド透	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
30,816	5,550	第2種該当	-	10:1

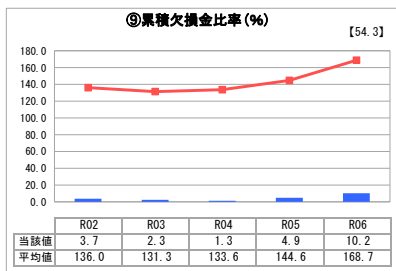
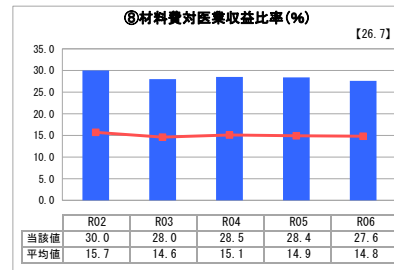
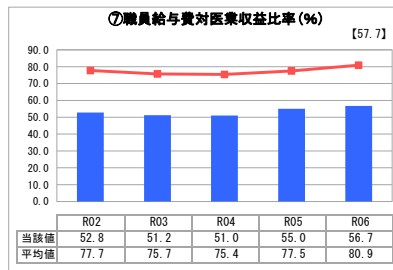
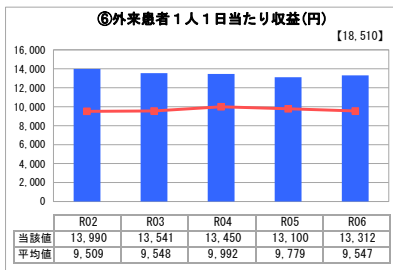
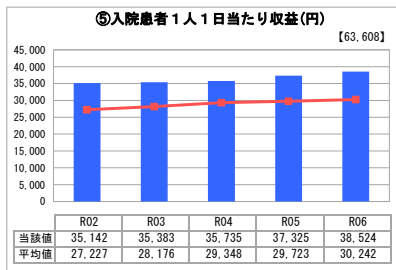
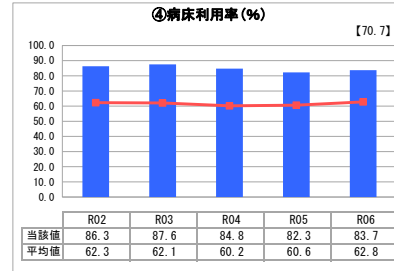
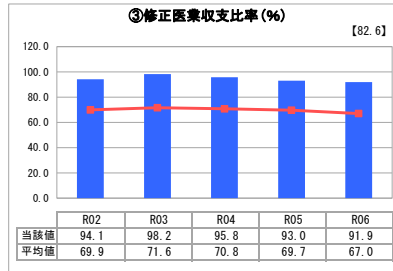
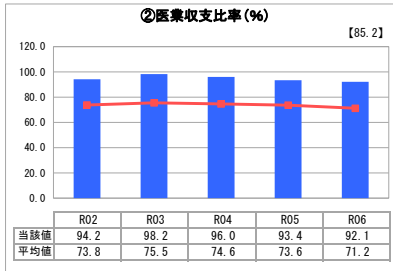
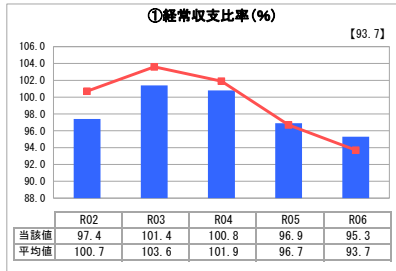
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

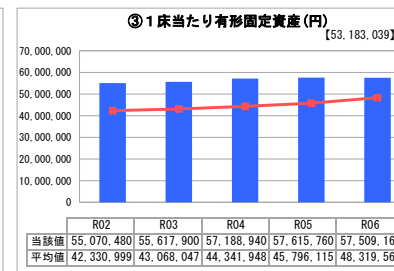
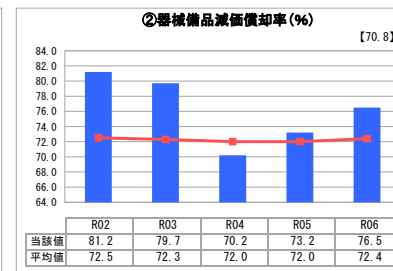
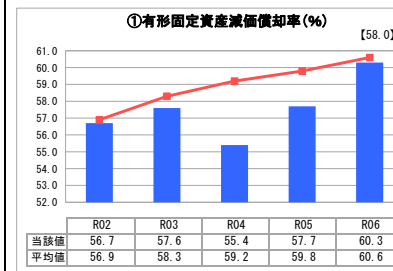
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
50	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	50
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
50	-	50

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

業務分限・業務強化 (従来の可視・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

診療圏は、備前市内では吉永地域、三石地区及び伊里地区、並びに隣接する和気町が主な地域となるが、岡山市や上郡町など市外・県外からの患者の方にも利用されている。  
半径4km以内に民間診療所が所見できないという立地条件のため、土曜日診療や夜間受付窓口を19時まで開けるなどして地域医療の確保に努めている。  
また、非常勤医師の応援により、多くの外来診療科を設け、様々な疾患の患者を受け入れるとともに、年間250件を超える手術を行うなど、この地域で可能な限りの医療を提供できるよう努めているほか、救急医療、へき地医療、小児医療、人工透析医療、在宅医療、各種健診事業、保健衛生活動、学校医、産業医、介護施設の協力医など幅広い役割を担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

①②③④⑤⑥⑦の各指標は類似病院平均値に比べると比較的良好な状態であるが、コロナ以降の患者数減少傾向や、人件費の高騰と言った不安要素が山積しており、非常に厳しい状況である。  
⑧材料費対医業収益比率は、類似病院平均値の倍近い数値となっており、当院が院内薬局での運用であるとはいえ、給与費と合わせた比率で分析するなど、対策を考える必要がある。  
⑨累積欠損金比率は、建替や計基準の改正の際の除却等により発生した欠損金が増加したものであったが、近年は純損失の発生によって比率が上がっている。  
多くの病院で経営状況が厳しくなっており、現状での早期解消は難しい状況であるが、新たな施設基準の届出に取り組み等、経営の健全化・効率化に努めたい。

#### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、令和4年度の電子カルテの更新によって一時的に類似病院平均値より低くなっていたが、高額な医療機器の更新は経営上困難になってきており、財源の確保を含めて検討する必要がある。  
②器械備品減価償却率は、定期的な保守を実施することで、器械備品を法定耐用年数以上使用しているため、類似病院平均値より高くなっている。  
③1床当たり有形固定資産は、病床が50床と入院施設が小規模である一方で、診療科が20科と外来機能の規模が大きく、医療機器も充実していることから、類似病院平均値より高くなっている。

#### 全体総括

今後、少子高齢化が進行し、患者数の減少や医療従事者の確保困難が見込まれる。ホームページの充実などの広報活動に注力し、患者にも職員にも選ばれる病院を目指したい。  
地域医療の提供体制を持続可能なものとするために、自院の役割を明確化した上で、最適な機能の選択や、病院間の連携を強化し、効率的な事業運営に努めるとともに、市民の安心につながる救急医療についても24時間体制での受入を継続する。  
また、地域包括ケアシステムの核として、地域内の他の診療施設や、周辺地域の急性期病院等と連携しながら、この地域で可能な限りの医療を提供できるよう引き続き努めていきたい。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。